

掲示板のことば

この耳は

ながねん

人の言うことを

おろそかに

聞いた耳です

榎本 栄一

2019. 09

まさに、耳の痛い言葉です……。私には……。

耳は、仏教では六根の一つと説かれます。眼（視覚）・耳（聴覚）・鼻（嗅覚）・舌（味覚）・身（触覚）・意（意識）の六つですが、これらの人間の持つ感覚はすべて執着にまみれていて、汚れているとされています。だから、修行を重ねる教えでは「六根清浄（ろっこんしょうじょう）」と言って、滝に打たれたりして、六根を清らかにし、執着から離れようとするのです。

浄土真宗では、六根を清らかにしなければならない、とは考えません。なぜなら、「できない」からです。諦（あきら）め、です。でもそれは、「ダメだなあ」という「あきらめ」ではなくて、仏教では「諦観（たいかん）」と言い「諦かに観る」という言葉が元になっていて、「『ほんとう』ということを知る」という意味があります。（あきらかにみる→あきらめる、か？）

私たちの心には、執着があります。これを取り除くことはできません。だから、執着にまみれた耳で聞くしかないのです。自分の都合のいいように聞いてしまい、都合の悪いことは、聞かなかったことにしてしまうのです。まさに、「おろそかに聞いてきた耳」なのでしょう。

でも、その耳が、私の心の執着を知らせてくださる仏縁となります。

真宗大谷派 光明寺住職 小林尚樹